

広島県の金融経済月報

1. 概況

広島県の景気は、緩やかに拡大している。

需要項目別に概観すると、輸出は緩やかに増加している。設備投資は高水準となっている。個人消費は持ち直している。公共投資は復旧・復興需要がみられる中で、緩やかに増加している。**住宅投資は持ち直しの動きがみられる。**

生産は緩やかに増加している。雇用・所得環境は着実な改善を続けている。消費者物価（除く生鮮食品）の前年比は、0%程度となっている。

先行きの景気は、緩やかな拡大基調を続けるものとみられる。なお、公共投資を中心とした復旧・復興需要による景気全体の押し上げが継続するとみられる一方、消費税率の引き上げの影響や米国の保護主義的な通商政策、新興国・資源国経済の動向は、下振れリスクとして注視する必要がある。

2. 実体経済

(1) 最終需要の動向

個人消費は、持ち直している。

百貨店・スーパー売上高は、持ち直しの動きが一服している。コンビニエンスストア等の売上高、家電販売は、増加傾向にある。乗用車販売は、持ち直している。旅行取扱額、主要観光地への入込客数は、緩やかに増加している。

住宅投資は、持ち直しの動きがみられる。

設備投資は、高水準となっている。

公共投資は、復旧・復興需要がみられる中で、緩やかに増加している。

輸出は、緩やかに増加している。

(2) 生産の動向

生産は、緩やかに増加している。

自動車、はん用・生産用・業務用機械は、緩やかに増加している。造船は、一部に弱めの動きがみられるものの、総じて高操業となっている。電気機械、鉄鋼は、横ばい圏内の動きとなっている。

(3) 雇用・所得の動向

雇用・所得環境は、着実な改善を続けている。

(4) 物価の動向

消費者物価（除く生鮮食品、広島市）の前年比は、0%程度となっている。

3. 金融

(1) 貸出の動向

県内金融機関の貸出金残高（末残）は、前年を上回っている。貸出金利は、低下傾向にある。

(2) 預金の動向

県内金融機関の実質預金残高（末残）は、前年を上回っている。

以 上

本資料はホームページにも掲載しています。

URL <http://www3.boj.or.jp/hiroshima/>

E-mail hiroshima@boj.or.jp

広島県の主要金融指標

— p:速報値、r:訂正值

[億円、前年比 %]

	県内金融機関貸出金（業態別・末残）						地元金融機関貸出金				
	その他 とも計	国内銀行	都銀・ 信託銀等	地 銀	地銀Ⅱ	信 金	合 計 (平残)	内 訳 (末残)			
								一般法人	個 人	地公体	
2018/1-3月	4.0	4.5	0.2	5.2	5.4	3.4	4.1	5.0	2.7	2.0	
4-6月	4.8	5.6	6.9	5.4	5.6	3.6	4.0	5.5	2.4	2.4	
7-9月	4.1	4.8	6.0	4.9	3.8	3.2	4.1	4.6	2.8	2.3	
10-12月	3.7	4.4	5.0	5.0	2.4	2.0	3.4	4.4	2.7	2.8	
2018/10月	3.6	4.1	3.1	4.7	3.3	2.6	3.4	4.4	2.8	2.3	
11月	3.6	4.1	3.6	4.6	3.1	2.3	3.4	4.3	2.7	2.5	
12月	3.7	4.4	5.0	5.0	2.4	2.0	3.6	4.4	2.7	2.8	
2019/1月	3.9	4.6	6.9	4.8	2.8	1.9	p 3.6	4.8	2.7	2.7	
12月末残高	135,995	97,701	13,440	61,508	22,752	15,315					
1月末残高	135,751	97,612	13,493	61,380	22,738	15,263					

- (注) 1. 県内金融機関貸出金は、県内店舗計数。
 2. 地元金融機関貸出金は、県内に本店が所在する日本銀行の取引先金融機関(銀行、信金)の全店舗計数。
 3. 国内店銀行一般勘定。地元金融機関貸出金の合計(平残)のみオフショア勘定を含む(ただし、3、6、9、12月の速報値はオフショア勘定を含まない)。
 4. 地元金融機関貸出金の合計(平残)のみ中央政府向け貸出金を含む。
 5. 県内金融機関貸出金の「その他とも計」には国内銀行、信金のほか、政府系(商工組合中央金庫、日本政策金融公庫)、信用組合、労働金庫、農業協同組合を含む。ゆうちょ銀行は含まない。

[%、%ポイント]

	貸出約定平均金利 (地元金融機関・県内店舗計数)			
	ストックベース		新規実行ベース	
	金利水準	変化幅	金利水準	変化幅
2018/1-3月	1.130	▲ 0.015	1.126	▲ 0.045
4-6月	1.105	▲ 0.025	1.094	▲ 0.032
7-9月	1.094	▲ 0.012	1.145	0.051
10-12月	1.078	▲ 0.016	1.166	0.021
2018/10月	1.091	▲ 0.003	1.217	0.203
11月	1.088	▲ 0.003	1.200	▲ 0.017
12月	1.078	▲ 0.010	1.081	▲ 0.119
2019/1月	1.073	▲ 0.005	1.134	0.053

- (注) 1. 貸出約定平均金利は、県内に本店が所在する日本銀行の取引先金融機関(銀行、信金)の県内店舗計数(貸出金利を貸出残高で加重平均し算出)。
 2. スtockベースは当座貸越を含む。新規実行ベースは当座貸越を除く。
 3. 四半期は、ストックベースでは期・月末計数を掲載。新規実行ベースでは月次計数の単純平均を掲載。

(出所) 日本銀行広島支店、日本銀行

[億円、前年比 %]

	県内金融機関実質預金(業態別・末残)						地元金融機関実質預金(平残)					
	その他 とも計	国内銀行	都銀・ 信託銀等	地 銀	地銀Ⅱ	信 金	合 計	内 訳				
								一般法人	個 人	公 金		
2018/1-3月	2.9	2.4	4.2	2.1	2.0	2.5	2.6	3.5	2.0	5.9		
4-6月	3.0	2.7	1.9	3.0	2.2	3.3	2.0	2.2	1.6	9.0		
7-9月	2.5	2.0	0.2	2.5	2.1	2.9	2.1	2.0	1.5	16.8		
10-12月	1.5	0.5	▲ 3.5	1.5	0.6	3.4	1.8	1.3	1.6	13.4		
2018/10月	2.0	1.2	▲ 0.9	1.8	1.0	3.0	1.8	1.1	1.5	14.7		
11月	2.0	1.0	▲ 2.1	1.8	1.3	3.5	1.8	1.0	1.6	11.9		
12月	1.5	0.5	▲ 3.5	1.5	0.6	3.4	1.9	1.6	1.6	13.6		
2019/1月	1.8	1.0	▲ 2.4	2.1	0.5	3.1	1.6	1.1	1.7	7.2		
12月末残高 202,676		128,771	21,038	78,492	29,239	25,818						
1月末残高 201,953		128,486	21,044	78,449	28,991	25,636						

- (注) 1. 県内金融機関実質預金は、県内店舗計数。
 2. 地元金融機関実質預金は、県内に本店が所在する日本銀行の取引先金融機関(銀行、信金)の全店舗計数。
 3. 国内店一般勘定。オフショア勘定は含まない。
 4. 実質預金は、預金から切手手形を控除したもの。
 5. 県内金融機関実質預金の「その他とも計」には国内銀行、信金のほか、商工組合中央金庫、信用組合、労働金庫、農業協同組合を含む。
 ゆうちょ銀行は含まない。

[億円、前年比 %]

	銀 行 券				
	県 内				全 国
	発 行	還 収	発行(▲)・還収超		平均発行高
			前年実績		
2018/1-3月	2,934	3,916	982	925	4.4
4-6月	3,261	3,957	696	364	4.2
7-9月	3,092	3,844	752	323	4.0
10-12月	4,153	3,638	▲ 515	▲ 902	3.6
2018/10月	1,166	1,394	227	46	3.8
11月	1,103	1,307	204	▲ 14	3.5
12月	1,884	937	▲ 947	▲ 934	3.4
2019/1月	646	1,837	1,191	986	3.3

(出所) 日本銀行広島支店、日本銀行